

祝 成人

20歳を迎えられた皆さん、ご成人おめでとうございます。皆さんは、大切な中学校最後の1年、そして高校時代をコロナ禍という世界中を巻き込んだ災難の中を過ごし、この成人式を迎えています。様々な思いがあったかと思いますが、今日から成人の仲間入りでもあります。この先の未来を作っていくのは、あなた達です。何事にも諦めずに、どうか学ぶ姿勢を忘れることなく、過ごしてください。たくさん幸せが訪れる人生になることを願っています。



令和元年度 船橋市立御滝中学校
第3学年 職員一同

ご成人おめでとうございます。

御滝中学校卒業から今日まで、よく頑張って、
考えて乗り越えてきましたね。

これからは、これまで支えていただいた家族や
社会に感謝の気持ちを表していきましょう。
それは、あなた方の生き様で返して行ってほしい
と思います。

前を向いて、しなやかに、片隅をも照らす世界
人として生きてください。

応援します。

猪股 みほ



成人式によせて

令和元年度卒業生 7組学級担任 田中良和

ご成人おめでとうございます。皆さんとは3年間、学級や授業で関わりました。御滝中学校で創立70周年という節目のときを過ごした皆さんとの学校生活は、私にとって思い出深い日々です。御滝中学校の卒業生としての誇りを胸に、皆さんが活躍してくれることを願っています。

私は5年前、卒業文集の中で国学者の一人、本居宣長が執筆した『うひ山ぶみ（初山踏・宇比山踏）』から以下の一節を引用し、皆さんへの贈る言葉としました。

詮ずるところ学問は、ただ年月長く倦まずおこたらずして、はげみつとむるぞ肝要にて、学びやうはいかやうにてもよかるべく、さのみかゝはるまじきことなり…又暇のなき人も思いの外、いとま多き人よりも、効をなすもの也、…学ぶことの晩きや、暇のなきやによりて、思ひくづをれて止ることなかれ。とてもかくてもつとめだにすれば出来るものと心得べし。

勉強は年月長くじっくりとやるべきで、多忙であるとか晩学であるといったことは関係ない。学問に向き合う姿勢こそが重要である、との意味で、小児科医を本職として、診察に多忙な中でも国学の研究に打ち込んだ本居宣長の人間性をよく表した一文です。

皆さんの中には、既に社会人として働いている人もいれば、学生として学んでいる人もいます。近年、「学び直し」に対するニーズに高まりが見られ、文部科学省の調査によると大学の通信制課程、大学院博士課程、専門職学位課程、専修学校、専門学校における社会人学生が増加しています。もちろん、25歳以上の学士入学、30歳以上の修士・博士課程への入学についていえばOECD加盟国の平均を下回るという課題はあるものの、終身雇用・年功序列といった日本的雇用慣行の崩壊、労働者不足によって複数のスキルを持つ優秀な人材が求められるようになってきていること、少子高齢化で高齢者がより長く働く必要が生じていることなどを背景に、多様な変化に対応できる知識・経験が不可欠な時代になっています。

職場で仕事上の必要に迫られて勉強したり、大学・専門学校等で定期試験のために勉強したりといった、何かの準備のための勉強はこれからも続きますが、勉強が何かの準備のためだけのものだとしたら、学ぶ意味は大きく薄れますし、勉強自体空虚なものになってしまうと思います。変化の激しい時代を生きる私たちは、高校や専門学校、大学までに学んだ知識だけでは「人生100年時代」を生き抜くことはできません。社会人になっても常に学び続け、社会状況の変化に対応できる知識・技能を身に付けていかなくてはなりません。「新しい知識を得たい、分からないことを明らかにしたい」という欲求を常に持ち続けてください。みなさんの勉強が、何かの準備に止まらないものになることを願っています。

祝 成 人

一年だけのおつきあいでしたが、みなさんと過ごした毎日は楽しく思い出深いものとして私の心に残っています。みなさんのバイタリティーに満ちた姿に魅せられ、たくさんエネルギーをもらっていました。意固してなくとも、よい行動は周りの人たちによりエネルギーを与え、よくない行動は周りの人たちを不幸にしてしまう…真に教養のある人は、周りの人を幸せにする人です。そんな人を目指してください。私も日々それを目指して勉強中です。これからのご活躍を心からお祈りしています。

令和七年一月十三日祝日

令和元年度船橋市立御滝中学校第三学年職員 奥野 僚子

ご成人
おめでとうございます
一期一会

一生に一度の出逢いを大切に

令和七年一月吉日

船橋市立御滝中学校十組

- 五十嵐 紀男
- 須藤 恵
- 近藤 里実
- 高井 李菜

